



十和田湖の成り立ち

約20万年前
十和田火山の活動が始まる。度重なる溶岩流と爆発的な噴火によって、先カルデラ成層火山群が形成される。

約61,000～15,000年前
比較的大規模な火砕流噴火が少なくとも3回発生。
①61,000年前/奥瀬火砕流
②36,000年前/大不動火砕流
③15,000年前/八戸火砕流

約15,000年前
湖の東南岸に再び火山活動が起き、小さな成層火山(中央火口丘)が形成された。中央火口丘の噴火が爆発的な噴火を起こすようになり、火口は次第に拡大していく。

約11,000～2,700年前
少なくとも8回の噴火が確認され、このうち約7,500年前の噴火では御倉山岩屑ドームが形成された。度重なる噴火の亀裂によって生じた凹地に周囲から水が流れ込み湖ができる。

西暦915年
この時の活動は、過去2,000年間で起きた噴火で国内最大と言われている。この活動を最後に現在に至る。



噴火から始まった 十和田湖の誕生

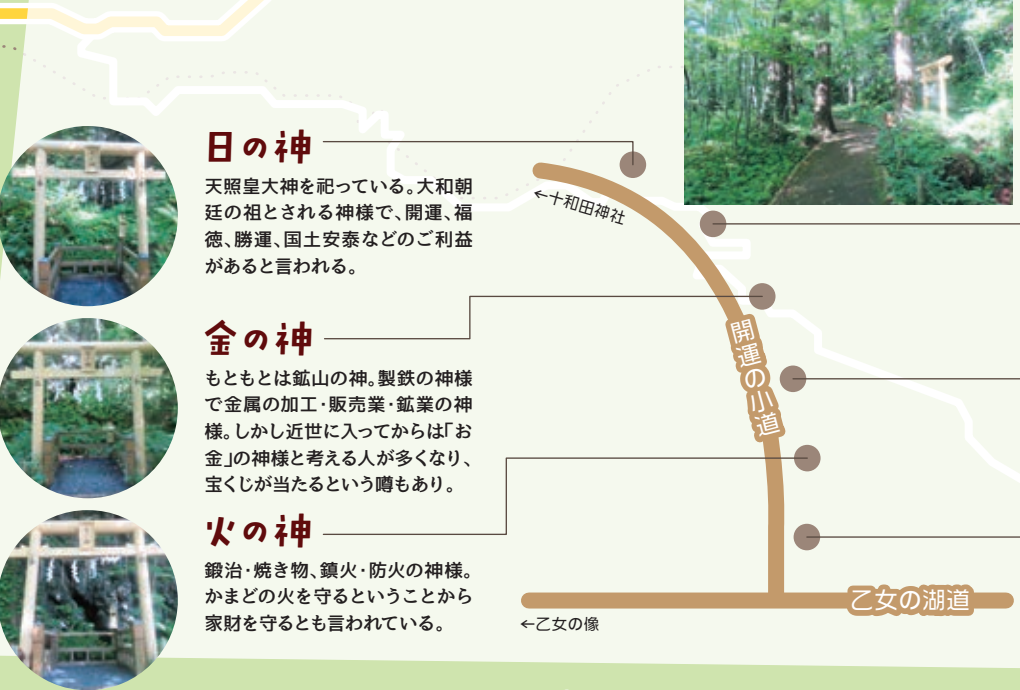
十和田湖は、青森県と秋田県にまたがる湖で、海抜400m、周囲は約46km、最深326・8m。すり鉢状のくぼ地に水がたまった二重カルデラ湖である。十和田湖の誕生は、約二十万年前の十和田火山の活動から始まったと言われ、何度も噴火を繰り返し現在の十和田湖の姿になった。十和田湖の最新の噴火は平安時代の西暦九百十五年に起こっているが、その時の噴火の大きさは過去二千年間に起きた日本国内で最大の噴火で、主に北東北に大きな被害をもたらしたのである。

信仰の世界が広がっていた 霊山十和田湖の姿

観光地として賑わうことになる遥か昔、十和田湖は山岳霊場として多くの人々から厚い信仰を受けていた。熊野や日光と並び称される「霊山十和田」には信仰の世界が広がっていたのである。平安末期に山伏の修験場として開かれたとされ、最も栄えたのは一般の人々も参詣するようになった江戸時代で、休屋、休平には参詣者のための宿泊小屋が十数軒建てられていたと言われている。

天地諸神の神を祀る開運の小道

十和田湖が霊山と呼ばれていた時代、修験者たちが修行や祈禱を行っていた6つの修験窟があり、現在は天地諸神の神を祀っている。この6か所を結ぶ道を「開運の小道」と呼んでいる。



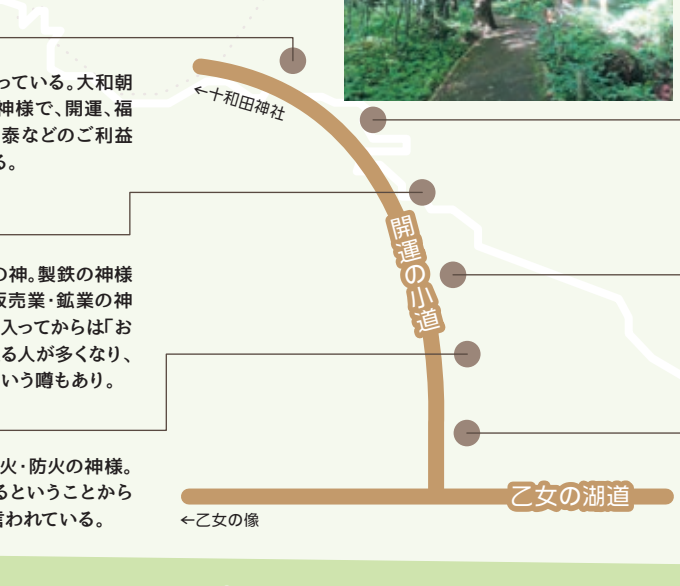
日の神
天照大神を祀っている。大和朝廷の祖とされる神様で、開運、福徳、勝運、国土安泰などのご利益を祀っている。無双の力の神で、格闘技を行う者の信仰を集めている。

金の神
もともとは霊山の神、製鉄の神様で金銀の加工・販売業・鉱業の神様。しかし近世に入ってからはお金の神様と考える人が多くなり、宝くじが当たるといふ噂もあり。

火の神
鍛冶・焼き物・鑛火・防火の神様。かまどの火を守るということから家財を守るとも言われている。

山の神
春になると雪がどけ、水になって山から下りてきて田を潤す。山の神は狩猟の神であるとともに、水の神、田の神という面も併せ持つ。

風の神
罪やけがれを吹き払って、すべてを清新にしてくれる神様。また、台風による災害を封じる神様でもある。



学ぶ。十和田湖編

今と昔では、十和田湖の姿はまったく違っていった。新しい産業も生まれ、日々進化する十和田湖について学んで行こう。

- 凡例
- 展望台
- キャンプ場
- バス停



ひめます物語

十和田湖ひめますの生みの親



明治初期まで十和田湖には魚が棲まないとされていた。そんな状況から、当時、鉱山勤務のかたわら十和田湖養魚事業に着手したのが、和井内貞行である。何度となく養魚に失敗した和井内だが、辛抱強く研究を続け、十和田湖畔でひめますの稚魚を放流し、成魚となって帰郷したことでようやく養魚に成功した。養魚を志し22年、血のにじむような努力が実った瞬間だった。写真提供:小坂町立総合博物館土曜

十和田湖ひめますを全国へ!

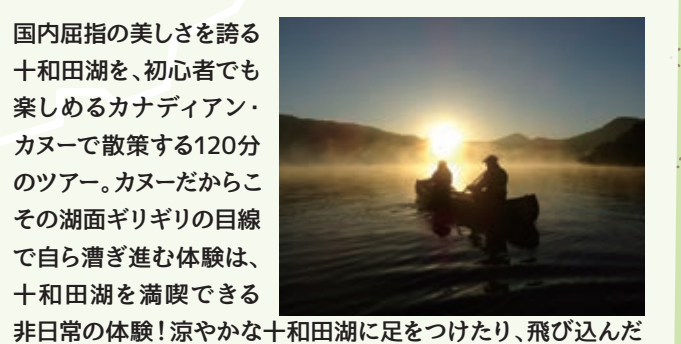
ひめます料理紹介!



ひめますは、体の色が美しく綺麗な魚である。十和田湖ひめますの身は美しいピンク色。脂ののっている独特の食感と甘みが魅力。昨今、お刺身や塩焼きだけでなく様々な料理が増え、「十和田湖ひめます」のおいしさを全国へ広めようと、ブランド化が進んでいる。

体験⑩ 十和田湖を間近に感じてみよう!

カナディアン・カナ体験

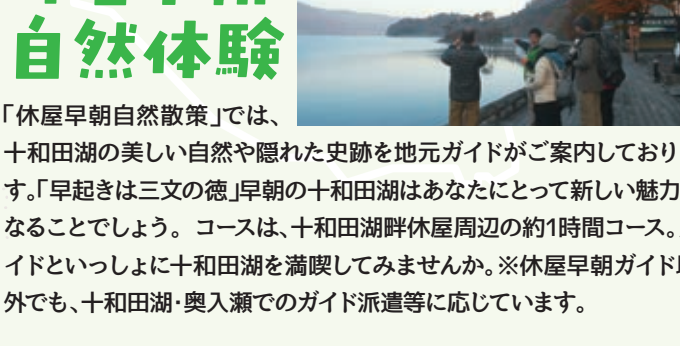


国内屈指の美しさを誇る十和田湖を、初心者でも楽しめるカナディアン・カナで散策する120分のツアー。カヌーだからこそその湖面ギリギリの目線で自ら漕ぎ進む体験は、十和田湖を満喫できる非日常の体験!涼やかな十和田湖に足をつけたり、飛び込んだりできるのは夏ならでは。雄大な十和田湖と一体になる非日常の体験を存分に楽しみましょう!

【連絡先:お問い合わせ】十和田湖ガイドハウス(かい)
TEL.080-1681-1036(甲田) URL <http://tgkai.jp>

体験⑨ 早朝の十和田湖畔を感じよう!

休屋早朝 自然体験

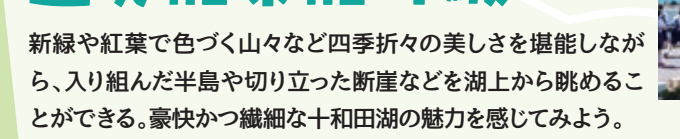


「休屋早朝自然散策」では、十和田湖の美しい自然や隠れた史跡を地元ガイドがご案内しております。「早起きは三文の徳」早朝の十和田湖はあなたにとって新しい魅力となることでしょう。コースは、十和田湖畔休屋周辺の約1時間コース。ガイドといっしょに十和田湖を満喫してみませんか。※休屋早朝ガイド以外でも、十和田湖・奥入瀬でのガイド派遣等に応じています。

【連絡先:お問い合わせ】十和田湖自然ガイドクラブ 事務局(吉崎方)
TEL.090-5181-7658 / FAX.0176-75-1860
※事前受付不要、直接朝6時 十和田湖観光交流センター「ぶらっと」前集合

体験⑧ 風を感じよう!

遊覧船乗船体験



新緑や紅葉で色づく山々など四季折々の美しさを堪能しながら、入り組んだ半島や切り立った断崖などを湖上から眺めることができる。豪快かつ繊細な十和田湖の魅力を感じてみよう。

【Aコース】休屋⇄子ノ口/休屋・子ノ口航路
【Bコース】休屋⇄休屋/おくら・中山半島めぐり航路
一般(おとな)1,400円/一般(子ども)700円/団体11名以上(おとな)1,200円/団体11名以上(子ども)600円/学生団体900円
【お問い合わせ】十和田観光電鉄株式会社(十和田湖遊覧船団体予約センター)
TEL.0176-75-2909

奥入瀬溪流散策

すまば日本 遊ばば十和田 歩きや奥入瀬 三里半

奥に入るほど瀬が多くなることから「奥入瀬」と名付けられたこの地は、文豪大町桂月が、こよなく愛し、歌に詠んだことで全国にも知られることに。大町桂月が味わった感動を、一步一步踏みしめて歩いてみよう。

凡例

- 遊歩道
- 奥入瀬川
- 「楽チャリ」貸出・返却場所
- バス停
- トイレ
- 駐車場



雲井の滝 (くもいのたき)

約20mの高さから落ちる水量豊かな滝。岩に当たる水しぶきが雲のように見えるので、この名がつけられたとされている。森林に囲まれた断崖から三段になって落下する姿は、ひときわ見ごたえがあり爽快な美しさを誇る。眺めるだけでなく、滝の側にも素晴らしい撮影スポットとしても魅力的。



銚子大滝 (ちゅうしおおたき)

幅20m、落差7mの奥入瀬本流にかかる唯一の滝。湖上して十和田湖に入ろうとした魚を妨げていた滝であったため、別名「魚止めの滝」とも呼ばれている。春の新緑、夏の深い緑、秋の紅葉など、ダイナミックな水の勢いが、周囲の景色を際立たせている。



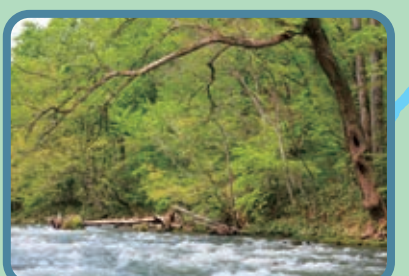
阿修羅の流れ (あしゅらのながれ)

のどかに流れる渓流や美しく流れ落ちる滝が多い奥入瀬で、激しい水の光景を見られるのが「阿修羅の流れ」。新緑や紅葉シーズンには、多くのカメラマンを集める絶好の撮影ポイント。



三乱の流れ (さんらんのがれ)

川の流れて岩に遭われ、三方に入り組んでいることからこの名が付けられた。春は苔むした石の上の可愛らしい花々が現れる。



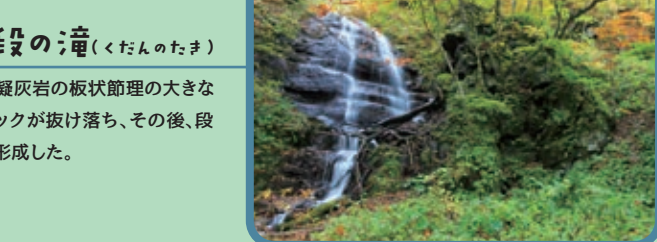
紫明の滝 (しめいけい)

焼山から奥入瀬渓流へ向かう際に最初に見えてくる名所。特に、厳しい冬の景色にあって自然美が魅力。



石ヶ戸休憩所 (いしけとせいきゅうじょ)

奥入瀬渓流散策の休憩ポイントで、軽食や土産を扱うお店もある。「石ヶ戸」とは、こちらの方言で、石でできた小屋という意味。休憩所近くには、木に支えられた大きな一枚岩が存在し、石ヶ戸と呼ばれている。【営業時間】8:30~16:30



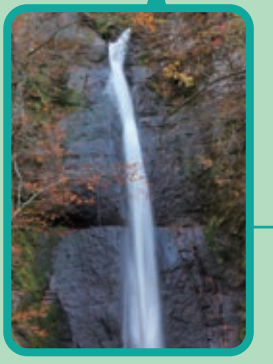
九段の滝 (くだんのたき)

溶結凝灰岩の板状節理の大きなブロックが崩れ落ち、その後、段状に形成した。



玉簾の滝 (たまだれのたき)

国道の脇にある滝で、しま模様様の岩をたたく水の音を玉の音に流れ、すだれの上を流れる落ちる様子から名付けられた。



白布の滝 (しろぬのたき)

天空から天女が垂らした羽衣のような細くて美しい滝。森の奥から細く落ちる様子は心癒ややかにしてくれるような優しい流れ。

自然を楽しもう！ 奥入瀬溪流の特徴

- <上流域>**
溪流のはじまりである十和田湖(子ノ口)から「雲井の流れ」付近までのエリアで、峡谷のイメージがやや強く感じられる。「玉簾の滝」を皮切りに滝が連続して現れるため「瀑布街道」とも呼ばれている。
- <中流域>**
「阿修羅の流れ」「雲井の滝」など景勝ポイントが目白押し。奥入瀬の美しさを満喫できる。雲井の滝「下流側の段丘上にはブナの美林が見られる。
- <下流域>**
焼山から惣辺(パイパス)までのエリア。惣辺および黄瀬に見られるブナやトチノキの森は美しく、シダやコケの観察にも適した区間となっている。

奥入瀬溪流の魅力と価値

- 上質な自然**
八甲田山の噴火による火砕流の台地を、十和田湖の決壊による洪水が浸食してできたU字型の渓谷それが奥入瀬溪流です。巨木が多く、コケやシダの豊富な渓谷林およびブナ林が広がります。積雪(冬の北西風)とヤマセ(夏の北東風による海霧)という、日本海側と太平洋側の両方の特徴を兼ねた気象と、深い谷地形に育まれた植生です。
- 優れた遊歩道**
- アクセスのよさ**



ガイドと行く 体験③ 奥入瀬溪流散策体験

景色を眺めるだけでなく、ガイドと一緒に湖や溪流の成り立ちを教えてもらいながら散策することで、奥入瀬溪流の魅力にどんどん引き込まれていく。もっと詳しく、もっと楽しく、そして美しく！

NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学
十和田奥入瀬認定ガイドが案内。自然、文化、歴史などをテーマに四季折々の十和田湖・奥入瀬を紹介。
【お問い合わせ】 十和田市奥瀬字大塚平163-3 TEL.0176-72-2780

十和田湖・奥入瀬観光ボランティアの会
ガイド全員の元。ふるさとの言葉で、奥入瀬と高を案内してくれるのが味わい深い。
【受入期間】4月下旬~11月中旬
【お問い合わせ】 十和田市法皇字前川原86-15 TEL.0176-23-0568(FAX対応)

NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会
「立ちどまるから、見えてくる」をテーマに、奥入瀬溪流のコケやキノコ、シダの観察をメインにしたネイチャーツアーを行っている。
【お問い合わせ】 十和田市西二十三番地11-1 TEL.0176-23-5866

体験。奥入瀬溪流編

森林浴、苔観察、名瀑鑑賞といろいろな楽しみ方ができるのが魅力的。貴重な自然に囲まれながら奥入瀬溪流を体験して行こう。

さらに深く知る 十和田の自然学

奥入瀬溪流の美しい自然はどのようにして保たれているのか。十和田湖の豊かな水は、人々の生活に何をもたらしているのか。景観の美しさにとどまらない、この地域の自然の素晴らしさを探ってみよう。



たとえば十和田の自然学 どうして、奥入瀬の川は増水しないのだろう…?

それは雨や雪が降っても、十和田湖が一度受け止めてくれることが挙げられます。また、奥入瀬溪流自体、高低差がなく、流れ出す渓流が緩やかなため、川の水量が安定しているのです。



<自然を学ぶ>奥入瀬溪流館
奥入瀬溪流の名所や見所を紹介する観光施設であり、十和田八幡平の自然を再現したジオラマや、自然の恵みと森林の働きをテーマにブナ林を通して食物連鎖と自然環境について学ぶ学習コーナーなど、十和田の歴史や自然を遊び感覚で学べる。
【お問い合わせ】 十和田市奥瀬郷久保183 TEL.0176-74-1233
【営業時間】9:00~16:30 ※年中無休



体験① アートを学ぼう！ こけ玉作り体験

こけを丸めて小さな奥入瀬を表現しよう。奥入瀬に生息している苔・樹木・シダ類を参考に、苔むした岩を「こけ玉」に見立てて「小さな奥入瀬」を表現している。小さなお子様も楽しく作ることができる。

奥入瀬モスボール工房(奥入瀬溪流館内)
【営業時間】9:00-16:30 ※火曜定休 【作業時間】30分程度
【定員】1名~40名まで 【料金】1人 2,000円~ ※好きな苗木から選べます
【対象年齢】5歳以上
【予約電話】 TEL.0176-74-1233(奥入瀬溪流館)
【HP】 <http://www.mossball.jp>

体験② 溪流浴をサイクリングしよう！ レンタル電動自転車

溪流浴(足)ストサイクル 楽チャリ
電動自転車レンタルして、らくらくと溪流沿いをサイクリングしてみよう。
●自転車マークのところで、乗り降りが可能です。
<基本料金>
シティサイクル(6段) 4時間1,000円
電動アシスト(3段) 4時間1,500円
延長料金:30分ごとに300円
<時間> 8:30~16:30
【お問い合わせ】奥入瀬溪流館 TEL.0176-74-1233

動物遺物をとらないでください。石を持ち帰らないでください。
道迷いを防ぐだけでなく、植物が踏み荒らされ、土が削られることによる自然環境の変化を防ぎます。また、歩行にストックを使用する際は、登山道の浸食を防ぐために、保護キャップをつけましょう。